

平成30年度 鳥取県小中高生プログラミングコンテスト募集要項

1. 目的・趣旨

■小中高生に将来の夢を育む

鳥取県小中高生プログラミングコンテストは、子どもたちがプログラミングを学び、自分でコンピュータを動かしたときの感動や作った作品を発表する体験を通して、ICTへの興味や関心を引き起こし、将来への夢を育むことを目的に実施します。

■初心者向け無料プログラミング体験教室開催

初心者向け無料プログラミング体験教室を東部・中部・西部で各2回開催します。内容は、単純な処理機能を有するブロックを組み合わせることで、プログラミングが可能な「スクラッチ」によるプログラミング体験教室で、難しい命令や文法を覚える必要がありません。

■誰もがプログラムをつくれる時代になる

近い将来に、誰もが自分のつくりたいソフトウェアを自分でつくれるようになる時代が到来することが予測されています。未来を担う子どもたちが柔らかい頭脳で創造性豊かなプログラムをつくる能力を身につけておくことは、ICT技術者育成のためだけでなく、より幅広い産業人の育成につながるものと考えます。

2. プログラミングコンテスト募集テーマと対象

(1) 部 門：次の2部門とします。

① 小中学生部門

② 高校生・高専生（U-18）部門

(2) テーマ：鳥取県

「鳥取県」に関連する学校紹介・地域紹介プログラム、ゲームプログラム、その他日常生活に役立つもの等

(3) 対 象：鳥取県内の小学生・中学生・高校生・高専生（U-18）

(4) プログラミング言語：不問

3. プログラミングコンテスト日程

(1) 作品募集期間

平成30年9月3日(月)～平成30年10月26日(金) 当日消印有効

応募のための郵送費や通信費などについては、各参加者で負担をお願いします。

(2) **一次審査**：選考委員による書類審査 部門毎に優秀5点選抜

平成30年11月5日(月) 午後1時～5時 鳥取市内

審査結果については、協会Web ページ上で発表するほか、「一次審査結果通知」を学校宛に郵送します。

「開発目的」「発想」「プログラムの機能」等といった視点で評価します。

(3) **二次審査**: プログラムソースの評価

平成30年12月8日(土) 午前10時～12時 倉吉交流プラザ(倉吉市)
本人に発表機器を持ち込んでいただき、会員企業の技術者が画面やソースの確認をしながら「プログラミング上の工夫」や「言語特性の有効利用」等について評価します。

(4) **最終審査**: デモンストレーションとプレゼンテーション

平成30年12月8日(土) 午後1時～5時 倉吉交流プラザ(倉吉市)
デモンストレーションでは、作成したプログラムの機能やアピールポイント、画面を紹介していただきます。予定していた機能に対するプログラム実現度も審査します。プレゼンテーションでは、作成したプログラムについて、「どのようなアイデアをプログラムにしたのか」、「プログラム作成で苦労した点や工夫した点」などについての発表を行っていただきます。

*一次審査・二次審査・最終審査の合計点により、部門毎に「知事賞」「協会会長賞」「審査員特別賞」「優秀賞」を決定します。

*発表終了後、参加者・審査員・情報産業協会関係者との茶話会を実施します。

*参加のための交通費などについては、各参加者で負担をお願いします。

4. 参加資格

鳥取県内の小・中学生、高校生および高専生(U-18)。

個人または最大4名までのグループ。ただし、同じ生徒が複数のグループに所属することや、重複して応募することは不可とします。

5. 表彰について

知事賞 (各部門1点) : 賞状および副賞(5万円分の図書カード)

協会会長賞 (各部門1点) : 賞状および副賞(3万円分の図書カード)

審査員特別賞 (各部門1点) : 賞状および副賞(1万円分の図書カード)

優秀賞 (各部門2点) : 賞状および副賞

6. 応募について

応募するプログラムは、単体で動作することを原則とします。

未発表の作品に限ります。ただし、他のコンテストに重複して応募する事は可とします。

<応募に必要な書類>

- ① 応募用紙(鳥取県情報産業協会のホームページ <http://toia.jp/> からダウンロードしてください)
- ② プログラムの実行画面一式を印刷したもの
- ③ 作品の操作資料(作品の起動方法、使用方法等を記入したもの)

※完成作品のデータがある場合は、応募用紙にデータを格納したURLを記載して下さい。